

こすもスマイル



37号

発行/小林市立病院
地域医療連携室



表紙挨拶

病院長 徳田 浩喜



平素より皆様方の当院の病院運営に対するご理解ご協力誠にありがとうございます。

ご存知のように本年1月から当院産婦人科で分娩が再開され、産婦人科医吉永先生のもとで新しい命が誕生しています。現状ではスタッフ不足などの課題もありますが、各科医師を含めたスタッフ一同でサポートし、産婦人科医療を維持していきたいと考えています。また4月より小児科医師が当院へ着任されることとなりました。近隣の小児科の先生方、宮崎大学、鹿児島大学と連携し、当医療圏の小児科医療に貢献できればと考えます。

2018年度は、宮崎大学から麻酔科4名、外科3名、県立日南病院から地域医療1名の研修医が当院で研修しました。2019年度は、宮崎大学、鹿児島大学、県立宮崎病院、県立日南病院から、延べ15名の研修医が予定されています。宮崎大学からのクリニカルクラークシップの地域医療の実習も継続的に行われ、当医療圏の実情を学んでいます。指導する立場となる医師を含め医療従事者は研修医、医学生がこの研修

・実習が貴重で魅力のある体験となるよう努力すべきと考えています。

当医療圏の人口はこの10年間で約1万人減少しています。それに伴い手術件数、救急車受け入れ件数はピーク時に比べ徐々に減少傾向ではありますが、2018年は手術件数：498件、うち緊急手術が45件、救急車受け入れ件数：734件であり、これらを含めた急性期医療は当院の重要な役割のひとつであり、今後もその充実、維持には努めていきます。また回復期医療においては、周囲の医療機関、介護施設等と連携をさらに綿密にし、地域包括医療の実践のためスタッフの確保、育成が必要と考えています。また悪性疾患に限らず終末期医療への対応の重要性も感じています。

2019年度が始まり、5月には新元号のもと新しい時代が始まり、少子高齢化が進む中、当院はその存在価値を地域住民から実感していただける医療を提供すべきと考えています。引き続きご協力ご支援よろしくお願いたします。

病院の理念

安心、安全で信頼される病院を目指します

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯(しんし)な姿勢で日々研鑽(けんさん)に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



一般病棟



5階病棟は、消化器外科・腫瘍外科を主とし、感染症病床4床を含む54床の一般病床です。急性期、周術期、終末期や化学療法を受ける患者さんが入院されています。

院内多職種でチーム医療に取り組んでいますが、今回は看護師の取り組みを紹介します。

緩和ケア認定看護師を中心にした「緩和ケアチーム」と「化学療法チーム」、人工肛門の講習を受けた看護師を中心にした「ストーマチーム」の3チームが患者さんに寄り添った看護を提供するため、毎月勉強会を行い知識の共有をしています。また、患者さんやご家族にも病気や治療について、パンフレットなど用いてご理解していただけるよう取り組んでいます。

今後も患者さんやご家族が安心して治療を受けられるように3チームで協力していきたいと思えます。



緩和ケアチーム

化学療法チーム



ストーマチーム



5階病棟主任看護師 田原 真美代



放射線室

当院放射線室は5名の診療放射線技師が在籍しており、主に放射線を利用する画像診断装置を駆使し、各診療科と密に連携を取りつつ、診断・治療に役立つ画像の提供や、各種放射線機器の保守管理および放射線被ばく防止に関する業務を行っています。

近年、進歩し続ける技術や多様化する専門性に対応した検査を提供できるよう、より専門的な知識や技術の習得に向け日々研鑽し、専門認定技師の育成にも取り組んでいます。

西諸医療圏における急性期医療や地域医療の充実に向けて、スタッフ一同、患者様を中心としたチーム医療における適切な役割と責務を遂行し、検査を安全かつ安心して受けていただけるよう努めております。



- ・一般撮影装置
- ・X線透視装置
- ・CT装置（64列マルチスライス）
- ・MRI装置（1.5テスラ）
- ・マンモグラフィ装置
- ・外科用イメージ装置

下記勤務体制にて365日24時間検査に対応しています。

- ・平日8:30~17:15
- ・夜間、土日祝日はオンコール体制

他の医療機関からの検査依頼への迅速な対応を行っておりますので是非ご利用ください。
CT・MRI・骨密度・マンモグラフィ検査依頼は地域連携室までお問い合わせください。

放射線室長 原田 教信



🌸 今回のお花

小林華道連盟より
毎週すばらしいお花をいただいております。



栄養情報だより

〈臨床栄養室〉

新しい年度がスタートし、これまで一緒に食卓を囲んでいた家族が新しい生活をスタートされた方も多いことと思います。

今回の話題は、「流行（はやり）の食べ物」についてです。現代の私たちは、身体に効果的な食べ物に関する情報をテレビやインターネットで知ることができ、健康維持に関心をもつことは大変良いことだと思います。

りんごで
ダイエット

「ダイエット」「若返る」「物忘れしない」

クルミや
ナッツで
認知予防

さば缶で
老化予防

ヨーグルトで免
疫アップ

納豆で
血圧低下

これらの健康法は、確かにさまざまな研究も進み、効果があると言われています。

ちょっと待って！！その前に大切なこと忘れていませんか？



これらの健康法は、基本の食生活があってからこそ効果があります。

今一度ご自身や家族の食生活を見直してみませんか。これまでよりさらに食生活が豊かになります。

① 食生活の基本は、1日3食バランスの摂れた食事です。

新生活が始まった方も朝食をしっかり食べましょう！朝は忙しいという方は、「牛乳入りシリアル」「コーヒーとパン」「果物とヨーグルト」など手軽なものからでもいいので始めてみませんか。



② プラス1品して栄養アップしましょう。

料理の品数が少ない方は、体に必要な栄養も少なくなる傾向があります。肉や魚を毎日摂る習慣がない方は筋力のもとになるタンパクを多く含む食品をプラス1品してみましょう。

野菜の1日目標量は350g(1皿70gとして5皿分)です。少ない傾向の方は、プラス1皿を目指してみましょう。



③ 食材や料理の工夫で、噛む習慣を身につけましょう。

食事をよく噛むことは、満腹のサインが脳に伝わり食べ過ぎを予防する効果や唾液の分泌を促進し口の中の細菌の増殖を防ぐ効果があります。また食卓に「姿勢良く座る」ことも大切です。

★何にでも使える簡単ふりかけ★ スーパーにもある材料で出来ます！

- * ご飯には…ゴマや小魚、桜えび、かつお節などフライパンで炒ってめんつゆで味付け。
- * お味噌汁には…かつお節やいりこの粉末、おからパウダーをふりかけ「出し」として使ったら、野菜と一緒に「具」として食べる。
- * おかずや野菜には…クルミやナッツなどをふりかけたり、まぶして香ばしく仕上げる。

地連スタッフのひとこと
退院調整看護師 竹内 加代

色んな花が咲き誇る季節、新しい生活がスタートする季節、春は新鮮な気持ちになります。我が家の長女は今年受験生。娘はこの春どう感じているのかな？子供の成長はうれしいけどさみしいですね。この一年、与えられたものを受け、与えられたものを活かし存分に楽しんでもらいたいです。来年の春、成長している娘達、楽しみにしています。